

基本生活費・娯楽費シミュレーション 図表の見方

シュミレーション結果

将来に渡っての資金残高の
目標とする金額である残高
目標を表示しています。

資金残高の残高目標							
2008年度までは30万円以上、2009年度から2011年度までは60万円以上、2012年度から2016年度までは150万円以上、2017年度から2026年度までは350万円以上、2027年度以降は600万円以上							

シナリオ ID	シナリオ内容				シミュレーションの結果			
	基本生活費	基本生活費の期間調整	娯楽費	娯楽費の期間調整	残高目標判定	資金残高の最小額		詳細ページ
1	120万円	期間調整なし	60万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2026年	-1,082万円	ページ 4
2	120万円	期間調整なし	48万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2026年	-759万円	ページ 12
3	120万円	期間調整なし	36万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2026年	-436万円	ページ 20
4	120万円	期間調整なし	24万円	期間調整なし	残高目標を下回る期間が残る	2024年	-129万円	ページ 28
5	100万円	期間調整なし	24万円	期間調整なし	残高目標を上回る	2006年	263万円	ページ 36

注1) 将来の各年度の基本生活費の支出額は、各シナリオの基本生活費に各シナリオの期間調整、および、物価調整とお子様のご出産、ご卒業、仕送り期間中に上る期間調整を加えた金額となります。

注2) 各年度の娯楽費の支出額は、各シナリオの娯楽費に各シナリオの期間調整、および、物価調整とお子様のご出産、ご卒業、仕送り期間中に上る期間調整を加えた金額となります。

シュミュレーションを行ったシナリオを表示しています。1行ごとに1つのシナリオを表します。

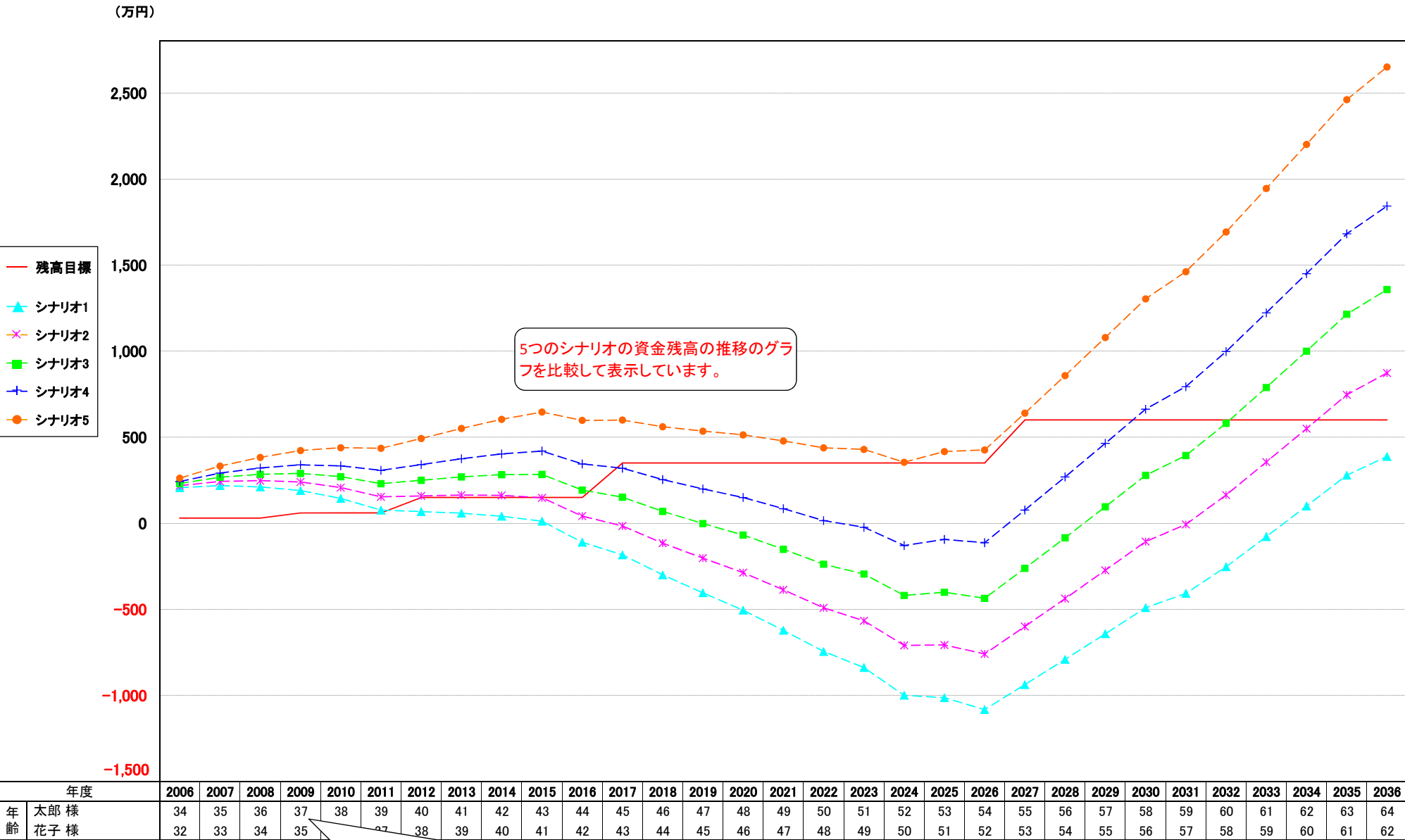
各シナリオにおける、基本生活費、および、基本生活費の期間調整を表示しています。

各シナリオにおける、娯楽費、および、娯楽費の期間調整を表示しています。

各シナリオにおける、資金残高が将来に渡って残高目標を上回るか、残高目標を下回る期間が残るかの判定を表示しています。

各シナリオにおける将来に渡っての資金残高の推移の中で、その最小額と最小となる年度を表示しています。

資金残高の推移



年度末時点における、夫、妻の方の年齢を表示しています。資金残高が多い時期や少ない時期と年齢との関係を確認することができます。

注) 年齢は年度末時点を表示しています。

シナリオ1 シミュレーション詳細

各シナリオのシミュレーション詳細の図表は、「資金残高キャッシュフロー」と同じ形式の図表を使用しています。シミュレーション詳細の図表については、「資金残高キャッシュフロー」の図表の見方をご参照下さい。